

## 「先人にいただいている」という自覚から

私たちの社会生活は職業上の役割だけでなく、町内会やPTA、子供会のお世話など、一人一人のボランティア意識によって支えられている部分も多くあります。また、もともと「誰の役割」と明確には決まっていなかったことでも、「誰かが率先してやらなければ物事が進まない」ということは、様々な場面で出てくるものです。そうした役割が回ってきたとき、“面倒なことを引き受けてしまった”“どうして自分が……”と思うことがあるかもしれません。

そんなとき、どのように考えたらよいのでしょうか。

私たちは日々、様々な支えを受けて生活しています。“自分の力で成し遂げた”と思えるようなことでも、そのほとんどは、周囲の人や社会の支えがあって成り立っているのです。

例えば、日常当たり前のように使っている電気・水道・交通・通信などのサービスも、その技術を開発した多くの先人の苦労の上に、現在の供給を支えてくれる人たちの努力があってこそ、私たちの便利で快適な生活が保たれているといえます。そうしたことを一つ一つ考えていくと、私たちは日頃からたくさんの物事を「先人にいただいている」といえるのではないのでしょうか。

私たちは自分自身がいただいている「恩恵」を自覚して、感謝の心と共に“自分も何かのお役にたてるように”という気持ちを率先して持ちたいものです。皆がそう心がけるうちに、互いが互いを思いやれる、安心で活力ある社会が築かれていくのではないのでしょうか。

## 続・小学生体験授業

前号の「蓮沼中鏡」では、おなづか小学校から届いた感想を掲載しましたが、その後、徳持小学校からもお礼の手紙が各教科の先生方宛に届きましたので、いくつかを紹介します。

【国語】物語の内容をより深く理解することが、中学の国語で大事なポイントだということを学びました。

【社会】社会が苦手で、小学校ではボーっとしていましたが、中学校の授業はとっても楽しくて短く感じました。

【数学】数学の面白さを知ることができて、蓮沼中学校に入りたいと思いました。

【理科】ちゃんとできるか心配でしたが、先生の説明が分かりやすく実験がちゃんとできたので良かったです。

【音楽】中学での音楽のことや校歌、声の出し方などたくさんのことを学ぶことができました。

【美術】「絵の鑑賞に間違いはない」と言っていたので少し自信ができました。絵の素晴らしさが分かりました。

【技術】中学では、タブレットPCが一人1台なので調べたいことが自由に調べられていいなと思いました。

【体育】ダンスを自分たちで作って踊ったことがなかったので、良い体験になりました。

【英語】この中学校の英語は楽しそうだなと思いました。先生と生徒との距離が近かったからです。

どの児童の感想にも、体験できたお礼と中学校入学後、頑張りたいという気持ちが込められていました。



小学生体験授業【英語】

## 勇気づけられた言葉

「努力は裏切らない」「最後まで粘ったやつが最後は笑う」「あなたなら大丈夫」「他人なんて気にしないで自分と戦え」「天才には努力で勝てる」「努力は実力を生み、実力は自信を生み、自信は合格を生む」「無理って言ったらずで終わり、限界を自分で決めているだけ」「頑張って、可能性はいつもキミの中にあるから」「思いはパワーの源だ」「自分を信じれば、どんなことでも成し遂げられる」「できるできないじゃない、やるかやらないかだよ」「“大きく変わる”と書いて大変と読む。君が今大変なら、それは今大きく変わろうとしている証拠なのだ」「努力を信じて春を待て。やがて芽が出る。花が咲く」「試験終了のチャイムが鳴るまで決して諦めるな」  
受験生が勇気づけられた言葉だそうです。3年生には、どの言葉がしっくりきますか。

### 1組 連合展覧会

2月13日(土)から19日(金)の期間、池上会館にて「特別支援学級連合展覧会」が開催されました。

本校のI組も蓮中祭で展示した作品とさらにいくつかの作品を展示しました。

区内のどの学校の作品も力作ぞろいで、見ごたえのある展示内容でした。生徒が一生涯懸命、ていねいに心をこめて作品に取り組んでいる姿が目に見えられました。

本校の生徒も、16日(水)に見学に行き、熱心に他校の作品を鑑賞していました。



### 1組 お別れ遠足



2月19日(金)には、I組の「お別れ遠足」で東京ディズニーシーに行ってきました。

当日は、晴天に恵まれ暖かく、活動するには良い1日となりました。4つの班に分かれて行動し、お土産を買ったり、お昼を食べたり、アトラクションに乗ったりして思い出に残る行事になりました。生徒は、夢の国で目をキラキラと輝かせ、楽しそうにしている、あつという間の時間を過ごしました。



## 生徒の活躍

国語・技術家庭科……東京都公立美術展覧会出品

(3年・坪坂泰知【技・杓ノボド】、2年・齊藤祐香【家・刺繍】佐野凜花【書・紅梅の里】) 2/9~14